

# 新名神高速 高槻～川西間 12月10日15時開通

ICの名称も決定  
川西～神戸は来年春

**新**名神高速道路の高槻ジャンクション(JCT)～川西インターチェンジ(IC)間が12月10日に開通することが発表された。各JCT・ICの名称も決定し、高槻JCT・IC、茨木千提寺(いばらきせんたいじ)IC、箕面とどろみIC、川西ICとなった。

新名神高速道路は、名古屋市から神戸市を結ぶ約174kmの高速道路。今回の開通により、大阪北部や川西地域から周辺高速道路へのアクセスが向上するとともに、移動時間が短縮する。例えば、兵庫県の猪名川町から京都駅までは約25分短縮し、約49分で到着する。また、新名神(高槻～神戸)の開通により、現在、名神高速道路や中国自動車道に集中している交通が分散し、多発している交通渋滞の緩和

が期待できる。さらに、名神や中国道に大規模災害が発生した際には、物資や人材を輸送する代替路としての機能を發揮する。川西IC～神戸JCTまでの16.9kmは、今年度末に開通予定となっている。

## 観光の活性化にも期待

**茨**木千提寺ICと箕面とどろみICが新設された沿線は、彩都や箕面森町などで大規模なまちづくりが進められ、人口は増加傾向にあるエリアだ。同時に、特産物の生産・販売地のアクセスが向上することで消費が拡大し、地域が活性化すると見込まれている。また茨木市彩都中部地区は物流拠点として整備が進められており、物流の円滑化や新たな雇用の創出など、様々な波及効果が期待されている。

このエリアはアウトドアスポットや寺社な



ど、自然に囲まれた観光地も数多い。交通アクセスが向上することで遠方からの集客がしやすくなり、新たなツアーツ旅行の誘致も可能となる。また、移動時間の短縮により、滞在地を追加したり観光地への滞在時間を延ばしてゆっくり旅行を楽しめるなど、観光客の満足度が増すことも見込み、観光の活性化にも期待が集まる。

今回開通する主な区間の通行料金(普通車)	大山崎 IC	京都南 IC	京都東 IC	茨木 IC	吹田 IC
高槻 IC	460	710	1,030	440	540
茨木 千提寺 IC	520	830	1,070	1,390	800
箕面 とどろみ IC	410	770	1,080	1,330	1,640
川西 IC	350	600	960	1,270	1,510
				1,830	1,240
				1,340	

## 高槻市に新ホテル誕生 2019年春を予定



ホテル外観イメージ。

**高**槻市は、芥川町の市有地にホテル事業者を募集し、株式会社アベストコーポレーション(神戸市)に決定した。オープンは2019年春を予定している。たかつき京都ホテルが2015年に閉館して以来、同市にはパンケット・コンベンション機能を備えたホテルがなく、市民や地元企業から誘致を求める声が出ていた。そのため市は昨年度、宿泊施設の建設に奨励金を交付する条例を制定。しかし、建設に適した民間所有地がなく手をあげる業者がなかったため、今年6月から市有地での誘致を目指し、事業者を公募していた。選定委員会によ



宴会・パーティー等利用時(左)と講演会・会議室等利用時(右)のコンベンションルームイメージ。



屋上テラスイメージ。

※各イメージは2017年11月現在のものであり、今後の協議により変更する場合がある。

## 「植育」イベント みどりのサンタの「植・食、健康」フェスタ2017 開催

**大**阪にもっとみどりをもっとみどりを楽しもう!をテーマに、12月1日(金)～9日(土)うめきたガーデンイベント広場で「植育」イベントを行う。

主催する一般社団法人テラプロジェクトは、植物・食品・健康をキーワードに研究や商品開発などを行う産学連携組織。「植育」を通して、次世代を担う子どもたちが幼い頃からみどりに触れる機会を持ち、みどりの大切さを実感・理解を促すこ



とで、将来、環境を意識した大人に成長してもらうことを目指している。

イベントでは、樹齢1,000年のオリーブの木が登場したり、「みどりに込めた次世代へのメッセージ」などの講演、テラリウムやキャンドルなどの様々な手作り体験ワークショップ、産学連携のコラボカフェなどを実施する。



キッズ音楽団  
&キッズダンスチームのパフォーマンス  
も開催予定。



オリーブを使った新感覚ブレッドなどの販売も。

イベント詳細および各イベント申し込みは「みどりのサンタフェスタ」HPです。  
<https://www.midori-santa.com/>

## 自動車関連犯罪の被害に遭わないために

協力:大阪府警察

平成29年9月までの車上ねらい認知件数は7,361件(平成29年10月4日付暫定値)で、日本で最も多い件数となっている。車上ねらいの被害の多くが駐車場で起き、カバンや財布だけでなく、インパクトドライバーなどの電動工具類の被害も発生している。

車の中にバッグなど物を置かないことが被害防止の最大のポイント。たとえ車の中に大切なものが入っていないなくても、犯人は金目のものが入っていると考えるので「車内をからっぽに」を心がけることが大切だ。また、防犯照明・防犯カメラ・出入口のチェーンなど、防犯設備の整った駐車場を選ぶことも重要となる。

【車内からっぽ宣言】運動とは  
大阪府警察では、平成17年より車上ねらい防止対策として「車内からっぽ宣言」運動を展開。パトロール中の警察官が「車内からっぽ宣言カード」を車のフロントガラス付近に貼付し、車上ねらいの警戒を行っている。車から離れるときは、このカードを車内の目に付くところに掲示し、車内に物を置かないよう注意しよう。



### 【自動車関連の盗難被害】

#### ナンバープレート盗難

平成29年9月までの大阪のナンバープレート盗難は約2,400件。部品ねらい被害の約6割に。犯人は盗んだナンバープレートを盗難車両に取り付け、車上ねらいを繰り返しているそう。

#### 【防止策】

ナンバープレートを盗まれ難くする盗難防止ネジの取り付けを推奨している。

※一部車種によっては、ナンバープレートを取り外さないとオイル交換やメンテナンスができるものがあるので、販売店等で確認を。

